SITEMA Expertise in Safety

テクニカルデータシート　TI-A14

セーフティキャッチャー KRP/Tシリーズ（DGUV認証品）

吊り下げバージョン

DGUV Test HSM 02023 Sicherheit geprüft tested safety

セーフティキャッチャーの概要に関しては、”テクニカルインフォメーション　TI-A10”をご覧ください。
本製品の取り付けに必要なSITEMA社フランジについては、”テクニカルデータシート　TI-A30”をご覧ください。
本製品の取り付けなどに関する情報は、”オペレーティングマニュアル　BA-A12”をご覧ください。

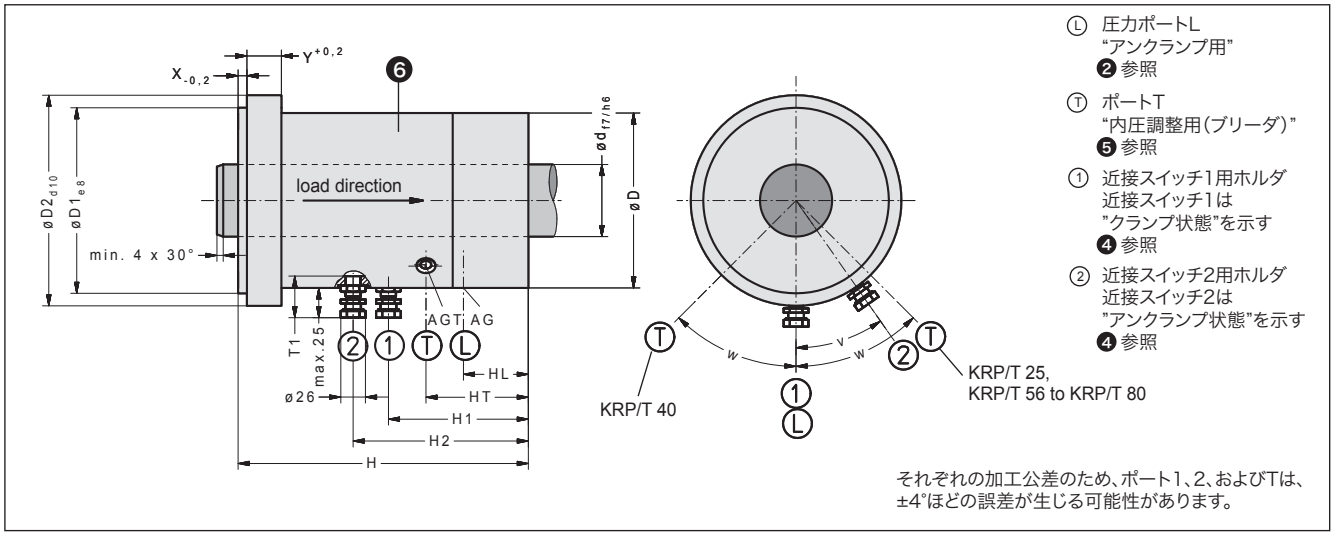

図1：セーフティキャッチャーKRP/T 概要図

Type	ID no.	d	M ❶	H	D1	D2	D	X	Y	V ❸	T1 ❹	AG	AGT	HL	HT	H1	H2	v	w	Wt.
	(order no.)	*mm*	*kN*	*mm*	*mm*	*mm*	*mm*	*mm*	*mm*	*cm³*	*mm*			*mm*	*mm*	*mm*	*mm*			*kg*
KRP/T 25	**KR 025 36**	25	10	155	70	88	71	3	13	20	32	G1/8	G1/8	39	87	87	105	23.5°	105°	4.5
KRP/T 40	**KR 040 36**	40	33	214	106	125	106	4	20	50	34	G1/4	G1/8	51	105	109	128	35°	75°	11
KRP/T 56	**KR 056 36**	56	67	265	140	164	140	5	25	80	34	G1/4	G1/8	55	125	125	168	0°	30°	26
KRP/T 80	**KR 080 36**	80	133	325	200	225	194	6	34	150	45	G1/4	G1/4	57	131	131	179	0°	30°	60

表記された数値は、予告なく変更する場合があります。

❶ Mは、セーフティキャッチャーの許容負荷を表します。取り付けられる軸の表面がドライ、もしくは油圧作動油が付着している場合、保持力（制動力）は2×Mを下回ることはなく、3.5×Mを超えることはありません。
❷ アンクランプ状態を維持するために必要な圧力は、4barです。スプリングベース（テクニカルデータシートTI-A21参照）を導入した場合、アンクランプするために必要な圧力は、6barです（テクニカルデータシートTI-A21）。許容作動圧力は、10barです。
❸ 空圧作動容積
❹ 近接スイッチホルダは、スタンダードな近接スイッチ（M12×1　検知距離2mm　埋め込み型　出力:NOC　/　KRP/T25をご使用になる場合M8×1 検知距離1.5mm 埋め込み型 出力:NOC）をご使用になれます。表のT1は、近接スイッチホルダ上面から、計測位置までの深さを示します。
近接スイッチホルダは、工場出荷時に予めT1の値になるよう取り付けられています。近接スイッチを取り付ける際は、近接スイッチホルダ内部のストッパに当たる位置で固定すれば、そのまま使用することができます。近接スイッチは付属していませんが、オプションのアクセサリとして、本体と一緒にご購入いただくことができます。
❺ クランプ・アンクランプ作動時に生じる、ユニット内部のエアー圧の増減は、ポートTを通して補正されます。ポートTにはエアーフィルタ（金色の六角ボルトのようなもの）が装着されており、ダスト等がポートTから製品内部へ入らない様に保護しています。
もし、ポートTから湿気や侵食性のある流体が発生した場合は、フィルタープラグの代わりに空気環境の良いエリアまで配管してください。
❻ ハウジングは黒色のプライマ処理、前端面は、防錆ワックス処理されています。